

きずな

第40号

春をよぶ 一斉放水

(上庄堤)

主な内容

一般会計補正決算 保育所入所等措置事業等

条例改正 こども医療費助成に関する条例改正等

委員会報告 定例会審査報告、視察研修報告

一般質問 9人の議員が市政について質問しました

インターネットでも議会の様子をご覧いただけます

合志市議会

検索

一般会計補正予算

補正額 4億3,828万円
総額 198億4,535万円

主な歳出

**合志庁舎増築事業及び
合志庁舎駐車場整備測量設計**
 ……1,116万円

西合志庁舎の機能移転に伴う合志庁舎の増築設計と駐車場整備測量設計業務委託費



増築予定地(合志庁舎北側)

校舎等施設修繕事業
 ……2,550万円

西合志南中学校用地のために東側隣接地の購入費



購入予定地

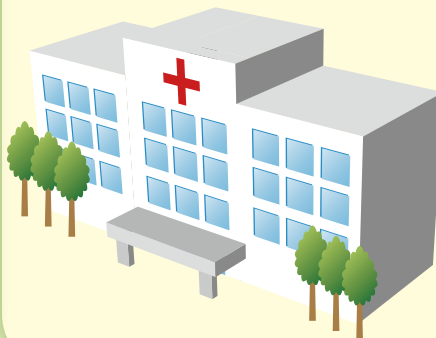
保育所入所等措置事業
 ……1億413万円

入所児童の増加と新制度移行後、施設への支払い増加による補正



生活扶助事業
 ……1億600万円

給付対象者の増加と高額医療の対象者が増加したことによる補正



12月定例会は、11月27日(金)から12月17日(木)までの21日間の会期で開きました。
 こども医療費助成に関する条例改正、平成27年度補正予算など市長提出議案等22件のほか、TPP参加に関する意見書など、議員提出議案4件を審査、ほか3

件の報告がありました。
 議決結果は、市長提出議案等22件が原案どおり可決・適任、議員提出議案は4件が可決となりました。
 一般質問は、9人が市政に関する問題を質問し、延べ50人の方が傍聴に訪れました。

平成27年第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
11	27	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	30	月	本会議	一般質問
12	1	火	本会議	質疑、委員会付託
	7	月	本会議	質疑、委員会付託
	8	火	常任委員会	付託事件の審査
	9	水	常任委員会	付託事件の審査
	17	木	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)

条例改正



可決

合志市こども医療費助成に関する条例の改正

・平成28年4月から助成対象を「中学校第3学年まで」に引き上げるため。

可決

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

・情報公開条例、個人情報保護条例、固定資産評価審査委員会条例、手数料徴収条例において条項の改正や字句の改正が必要になったため。

可決

合志市行政不服審査会条例

・行政不服審査法の施行に伴い、不服申立ての審理結果の諮問機関として合志市行政不服審査会を設置するため。

可決

合志市税条例等の改正

・地方税法施行規則の一部改正及び行政不服審査法の全部改正によるもの。

可決

合志市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の改正

・農業委員会等に関する法律の改正に伴い、平成28年4月1日より、公職選挙法による選出の廃止及び定数の改正について定めるため。

可決

合志市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

・農業委員会等に関する法律の改正に伴い、平成28年4月1日より、新たに設けられる農地利用最適化推進委員の定数を定めるため。

可決

合志市特別職等の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正

・農地利用最適化推進委員の新設に伴い、報酬額を定めるため。

可決

合志市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の改正

・番号法に規定されていない事務及び提供については市の条例で別に定める必要があるため。

平成28年第1回臨時会

請 願

採 扱

新警察署の名称に関する請願

提出者 合志市に警察署設置を要望する会
会長 塚本 文昭

県に意見書を提出

新警察署の名称に関する意見書

先般、熊本市議会において、新設警察署「(仮称)熊本合志警察署」の名称について、名称から「合志」という冠を省き、「熊本北警察署」という名称に限定を求めたい旨の意見書が初めて県に対し提出されました。

本市では、平成22年4月市長からの合志警察署の設置要望書提出からこれまで、市内関係団体が組織する「合志市に警察署の設置を要望する会」から平成23年12月に県知事、県警本部長宛に要望書を提出、また平成24年5月には趣旨に賛同する市民27,028人の署名も提出したほか、市議会からも平成23年11月と平成24年7月に「合志市を管轄する警察署の新設を求める意見書」を提出してまいりましたが、残念ながら本市への新警察署設置はかなわず、市民や関係諸団体の落胆も大変大きなものがあったことをご存知のとおりです。しかしながら、建設地も合志市に隣接した熊本市北区に決まり「熊本合志警察署」という仮称が公表されたうえ、平成27年7月の県警からの説明では、合志市及び北区住民両方に配慮した名称にしたい旨の見解が示されたことで、失望していた市民の間で、再度、熊本県、合志市及び県警を信じ、協力をしていこうという風潮でまとまり始めております。その矢先での今般の熊本市議会から県への意見書の提出は、正に晴天の霹靂であり、驚きを隠せないと同時に、内容についても合志市民のそういった努力や心情に整合しておらず、到底受け入れられるものではありません。

従いまして、熊本県並びに県警におかれましては、新設警察署に関する本市とのこれまでの経緯を踏まえ、名称は管轄する区域が分かり易く親しまれる呼称となるよう「合志」の文字を使用いただくよう、再度強く要望するとともに、新警察署名称決定の過程に際しましては、どちらか片方ではなく、合志市、熊本市北区、両方の住民に対し、誠実な対応を取られますよう何卒ご配慮いただきたく存じます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年1月8日

熊本県知事
熊本県警察本部長 } あて



村田副知事へ意見書提出(1月8日)

議員提出議案

可 決

複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書

提出者 松井美津子議員
ほか11人

可 決

農業の簡易課税制度みなし仕入れ率について消費税軽減税率導入時に第三種事業から第一種事業に変更を求める意見書

・同内容で国と県に意見書を提出。

提出者 澤田 雄二議員
ほか11人

可 決

TPP(環太平洋経済連携協定)参加に関する意見書

・TPPが日本の農業に与える影響が大きいことから、今後なおいっそう慎重な審議を国会で行ってもらうよう国に対して意見書を提出。

提出者 坂本 武人議員
ほか5人

人権擁護委員の推薦

と な み か ず こ
戸浪佳寿子氏(野々島)

こ ば や し ふ よ こ
小林富代子氏(御代志)

な か む ら と く お
中村十九男氏(須屋)

く わ は ら の り え
桑原 典恵氏(幾久富)

さ わ だ ひ で お
澤田日出夫氏(幾久富)

賛 否 一 覧 表

平成27年第4回定例会審議結果(11月27日~12月17日)

議案等の名称		議員名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	賛成	反対			
				澤田雄二	野口正一	齋藤正昭	青山隆幸	大住清昭	西尾隆博	松本龍一	後藤修一	濱元幸一郎	上田欣也	青木照美	坂本早苗	濱口正曉	神田公司	来海恵子	松井美津子	池永幸生	坂本武人	吉永健司					
市 長 提 出 議 案	条 例	議55	合志市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																			長	18	0	
		議57	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可	〃																			長	18	0	
		議58	合志市行政不服審査会条例	可	〃																			長	18	0	
		議59	合志市農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	可	〃																			長	18	0	
		議60	合志市特別職等の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	〃																			長	18	0	
		議61	合志市税条例等の一部を改正する条例	可	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	16	2
		議62	合志市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	16	2
	議63	合志市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例	可	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	16	2	
	予 算	議56	平成27年度合志市一般会計補正予算(第5号)	可	全会一致																			長	18	0	
		議64	平成27年度合志市一般会計補正予算(第6号)	可	〇	〇	●	〇	●	〇	〇	〇	〇	●	●	〇	●	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	長	12	6
		議65	平成27年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0	
		議66	平成27年度合志市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可	〃																			長	18	0	
		議67	平成27年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可	〃																			長	18	0	
		議68	平成27年度合志市水道事業会計補正予算(第3号)	可	〃																			長	18	0	
		議69	平成27年度合志市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	〃																			長	18	0	
	人 事	議71	平成27年度合志市一般会計補正予算(第7号)	可	〃																			長	18	0	
諮1		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	〃																			長	18	0		
諮2		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	〃																			長	18	0		
諮3		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	〃																			長	18	0		
諮4		人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	〃																			長	18	0		
他	諮5	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	〃																			長	18	0		
	議70	合志市総合計画第2次基本構想の策定	可	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	17	1	
報告	報告10~12	専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告	報 告 終 了																								
議 員 提 出 議 案	意 見 書	議提13	「複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書」の提出	可	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	長	14	4	
		議提14	「農業の簡易課税制度みなし仕入れ率について消費税軽減税率導入時に第三種事業から第一種事業に変更を求める意見書」の提出	可	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	13	5
		議提15	「農業の簡易課税制度みなし仕入れ率について消費税軽減税率導入時に第三種事業から第一種事業に変更を求める意見書」の提出	可	〇	〇	〇	〇	〇	●	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	13	5
		議提16	「TPP(環太平洋経済連携協定)参加に関する意見書」の提出	可	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	長	13	5

平成28年第1回臨時会審議結果(1月8日)

議案等の名称		議員名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	賛成	反対		
				澤田雄二	野口正一	齋藤正昭	青山隆幸	大住清昭	西尾隆博	松本龍一	後藤修一	濱元幸一郎	上田欣也	青木照美	坂本早苗	濱口正曉	神田公司	来海恵子	松井美津子	池永幸生	坂本武人	吉永健司				
市 長 提 出 議 案	その他	議1	財産の無償譲渡	可	全会一致																			長	18	0
議 員 提 出 議 案	陳 情 請 願	請願1	新警察署の名称に関する請願	採	〃																			長	18	0
議 員 提 出 議 案	意 見 書	議提1	「新警察署の名称に関する意見書」の提出	可	〃																			長	18	0

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 採=採択 適=適任
 ※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 〇=賛成 ●=反対 長=議長(議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

総務常任委員会

委員長 来海 恵子
委員 松井美津子
委員 上田 欣也
副委員長 西嶋 隆博
委員 神田 公司
委員 澤田 雄二

審査

合志市条例等の一部を改正する 条例

【反対討論】 なかなか理解しがたいものがあり反対する。

【賛成討論】 行政不服審査法及び地方税法施行規則の一部改正に基づき改正であり賛成する。

平成27年度合志市一般会計補正 予算(第6号)

(財政課)

【問】 庁舎増築と駐車場整備の設計業務に関連して、スケジュールと計上した金額の算定根拠は。

【答】 庁舎増築は4月までに設計完了、6月頃から8カ月の工期で工事を予定している。駐車場は3月までに設計完了、来年度速やかに竣工する予定である。設計金額の根拠については、それぞれ構造規模や工事面積から算出した概算工事費を基に積算しており、県の労務単価を使用している。

(税務課)

【問】 個人市民税の伸びは、給与水準等含めて個人収入が増えたのか。

【答】 人口の増加、なかでも給与所得者の増加が大きな原因として上げられる。

(政策課)

【問】 肥後六華の会の活動について、

女性目線の現状調査をどのように行うのか。

【答】 肥後六華の会による創業応援や子育て応援プロジェクトの取り組みにより、働き方や在宅でのテレワークの希望など、子育てや生活実態に応じた調査を進めていく。

【反対討論】 合志庁舎増築事業に伴う債務負担行為2819万8000円と合志庁舎増築設計業務委託846万円について、西合志

庁舎機能の大幅な移転についての検討がまだ十分ではない。教育施設整備等に多額の支出が見込まれる時に、合志庁舎の増築本体工事に7億円近くの予算を費やすことについては、市民に対して十分な説明と理解が必要なのに、現状あまりに拙速ではないかと思われるので補正予算に反対する。

【賛成討論】

西合志庁舎は現在34年、合志庁舎は25年が経過しており、西合志庁舎は今後10年から15年で、合志庁舎は20年から25年で大規模改修または建て替え取り壊しが必要となってくる。現在の分庁方式では窓口サービスなどで市民にとって分かりにくいものとなっており、多くの苦情を受けている状態である。合併特例債の期限も32年までと迫ってきており賛成する。

研修

平成27年10月7～9日

東京都町田市・神奈川県逗子市・東京都荒川区

10月7日 東京都町田市
公会計制度について

町田市は、平成24年4月から東京都方式で新公会計制度を導入し全職員が係わる、意思決定のツールとした。財務会計、公有財産、起債管理の3システムを、課別・事業別行政評価シートに活用して予算編成の判断材料にしている。合志市でも財政に行政評価を取り入れているが、公共施設の管理が問題になってくる中で貸借対照表や個別分析などを取り入れる事を検討すべきだと思つ。

10月8日 神奈川県逗子市
地域自治の取り組み

逗子市は高齢化率が平成27年度31.5%で、自治会に補助もなく、自治会長が何年もない地区もある。そこで、5小学校区単位で担当職員を張り付けて校区ごとに懇話会を丁寧に行った結果、住民自治協議会が2つ立ち上がり、2つが準備会の段階である。若手職員が現場を知るには一番良いが、要望やクレームだけになると心が折

れやすいので上司のフォローが大切と感じた。合志市でも高齢化が進むと役員のみならず手もなくなる恐れがあり、いろいろな団体で行う地域自治体までいかなくても、若い人の意見が出やすい自治体にしていかなくてはと考える。

10月9日 東京都荒川区

荒川区民幸福度(GAH)について
平成16年にドメイン(区民を幸せにするシステム)を事業領域に取り入れる方針を打ち出し、幸福度を主観的に図るシステム構築のため、現場職員や若手職員と100回以上ワーキングを重ねて指標を作製、区民アンケートを2年連続で行い、GAHレポートをまとめ発表し、行政評価に活かしている。合志市でも、平成18年に合併してから10年間毎年同じ設問で市民アンケートを行い、行政評価に活かしており共通点が多い。区

民の不幸を減らす観点、この考え方は合志市でも役立つと感じた。



荒川区役所

文教経済常任委員会

委員長 濱口 正暁 副委員長 後藤 修一
 委員 池永 幸生 委員 濱元幸一郎
 委員 大住 清昭 委員 青山 隆幸

審査

合志市農業委員会の選考による委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例

問 農業委員はこれまで公選制により選ばれていたが、市長の選任へと変更になった理由は。

答 これまで公選制とはなっていたものの、実際に選挙が行われる事はあまりなく、各地域の実情を把握している認定農業者を中心とした選任制へ制度を変えようとするものである。

【反対討論】 今回の条例改正は、農業委員を選挙を廃止して、市長の任命とするということが大きな問題である。また農業委員が、農業・農民に関することについて意見を行政長に建議することができるといふ、法律上の条文がなくなったことで、意見を表明する権限がなくなっていることが問題である。今回の改正は、農地の番人としてのこれまでの農業委員会の役割を弱めるもので反対する。

【賛成討論】 この条例は先般の国会で決められたものであり、私たちとしては肅々として執行していかなければならないと思うので、政府が目指している農業の集約化、そして国際化を目指して協力

していかねばならないという事で賛成する。

平成27年度合志市一般会計補正予算(第6号)
 (学校教育課)

問 小学生と中学生への就学援助費について、対象者が少ない中学生への援助費が多いのはなぜか。

答 援助対象となる項目単価の差である。

平成27年度合志市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 動力費の増額に関し、再生可能エネルギー発電促進賦課金の単価は毎年上下し変更があるのか。

答 太陽光発電が増加することに伴って賦課金も引き上げられる。平成26年度は0・75円であったが、平成27年度は1・58円の2・1倍になっている。来年度以降は今年ほどの引き上げ幅はないと思われるが、実施されるであろう。



審査風景

研修

平成27年10月6～8日

新潟県三条市・阿賀野市・新潟市

10月6日 新潟県三条市

小中一貫教育について

三条市は新潟県のほぼ中央に位置し、平成17年に3市町村が合併し、人口10万1000人、面積432km²の市である。少子化や都市化の進展そして家庭や地域社会の教育力低下など社会的環境が大きく変化する中、いじめや不登校、学習意欲の低下等、さまざまな課題を抱えている。そこで三条市教育委員会では、6・3制の教育制度の在り方及び教育内容やその方法などについて検討され、小学校と中学校がより連携しやすい環境をつくることが望まれるとして、小中一貫教育を導入することが提言された。平成20年度にモデル校を指定し、平成22年度から全小中学校で試行、平成25年度から全面実施され、現在中一ギャップの減少効果が認められ始めている。合志市でも今後の義務教育の在り方として検討が進められるべきだと思う。

10月7日 新潟県阿賀野市
 6次産業化の取り組み

阿賀野市は、新潟有数の穀倉地で

2町2村が合併、人口4万4000人、面積193km²でほとんどの農家は水稲中心の単一農家である。阿賀野市では、農家所得を上げ、後継者の減少に歯止めをかけるため、国や県の指導・補助を受けながら6次産業化を進めることを平成23年度より取り組んでいる。行政としては中小企業の創造企業補助金や地産地消法に基づく「総合化事業計画」の認定を受ける支援等を行い、成功事例として(株)脇坂園芸の取り組みを現地で調査した。新しいことへ挑戦する起業家、夢を追いかける創業者として、強く印象に残った。

6次産業にはこういうバイタリティー溢れるリーダーの牽引力が必要で、合志市も若い起業家の育成、出現が必要だと感じた。

10月8日 新潟県新潟市
 新潟市立中央図書館について

中央図書館は、新潟県の政令都市81万人にふさわしく、来館者の多様なニーズに対応した図書館で、運営面で取り入れるべきところが多くあった。



阿賀野市(脇坂園芸)

健康福祉常任委員会

委員長 松本 龍一
委員 坂本 武人
委員 齋藤 正昭
副委員長 坂本 早苗
委員 青木 照美
委員 野口 正一

審査

平成27年度合志市一般会計補正予算(第6号)

(健康づくり支援課)

問 インフルエンザ予防接種対象者の数と料金はどうなっているのか。

答 平成25年度は、2万2300人だったが、平成26年度は2万7000人になった。これはインフルエンザ予防への市民の意識が高くなったためではないかと思われる。予防接種料金は、ワクチンの種類が3種類から4種類に増えたため、個人負担金が65歳以上1300円(平成25年度は1000円)、64歳以下1800円(平成25年度は1500円)になった。

(子育て支援課)

問 西合志東小第5学童クラブ室(不動産鑑定業務委託の内容)。

答 西合志東小

学童クラブの利用者の増加に伴い、第5クラブを整備する必要があり、学校に



西合志東小建設予定地



隣接する土地の用地交渉のため不動産鑑定を行うものである。なおクラブ室は、2階建てを予定している。

(高齢者支援課)

問 高齢者の健康づくりを支援するため、施設の利用料を補助しているが、プールやトレーニングジムの利用者数はどれくらいあるのか。

答 12月9日までの集計でプールは延べ431人、トレーニングジムは延べ344人となっている。

平成27年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

(9月議会の決算において、剰余金が基金に積み立てられたが、その後どのように使われ、現在高はいくらになる見込みか。)

答 保険給付費に5500万円、償還金(返還金)として5300万円程の支出があり、財政調整基金の現在高は2億5000万円程になる見込みである。

平成27年度合志市介護保険特別会計補正予算(第4号)

(生活管理指導員派遣事業の対象者と数)。

答 高齢者のうち、要支援の認定までには至らない方が対象で、利用者数は月平均で18名程である。

研修

平成27年10月14、16日

宮城県角田市・石巻市・名取市

10月15日 宮城県石巻市

大震災からの復興と健康福祉に関する取り組み

石巻市は県南沿岸部にあり、震災において甚大な被害と犠牲者を出した。今なお約8500世帯、2万人余の方々が仮説住宅やアパート等で暮らしている。市の課題は、被災者の心と体のケア及び生活支援、仮説住宅から恒久的住宅への移転、新しい地域でのコミュニティづくりと地域リーダーの育成、高齢者等のケア(医療、介護、健康・生きがいづくり)など膨大かつ多岐に渡っており、市丸と成り取り組んでいる。実施に当たっては、市を12の地区に分け、それぞれ地域包括支援センターを置き、保健師や生活支援コーディネーターが地域や個々の実情に即した細やかな対応や支援を懸命に行っている。このような大変な中、我々の視察を受け入れていただいたことに感謝したい。



石巻市

10月16日 宮城県名取市

震災復興と発展するまちづくり

名取市は仙台市に隣接し、生活環境、自然環境に優れ、住みよさランキングで全国4位を誇る。しかし、震災において市の3割が冠水し、死者、行方不明者900人余の甚大な被害を受けた。現在、復興の途中であるが、合志市同様人口が年々増加しており、子育て支援にも追われている。就学前の子ども施設利用は幼稚園が多く、保育所の1.5倍程になっている。また「赤ちゃんの駅」として、乳幼児のオムツ交換や授乳をするための場所を公共施設に29カ所、民間施設(銀行、大型店等)に9カ所程設けてある事が特徴的である。復興事業、子育て支援等大変な業務に尽力されていることに敬意を表したい。



名取市

今回東日本大震災の被災地を視察し、悲しみや苦しみを抱えながらも、困難な問題に立ち向かわれている姿、震災を機により一層地域や住民を守っていくこととされている姿に触れ、強く感銘を覚えた。

市立図書館の今後の在り方について

濱元幸一郎 議員



濱元 図書館は、図書館法では図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設となっている。いま市で検討されている指定管理制度や業務委託は、この図書館の役割に照らすならば、なじまない。公立図書館は利潤を追求する施設ではない。市が直接、住民の学習権を保障するために責任を持つ施設である。現在市で検討している内容について伺う。

生涯学習課長 市の集中改革プラン、また行政改革大綱において、施設運営の効率化と住民サービスの向上に取り組むことになっている。その取り組みとして業務委託の推進、指定管理制度の導入など挙げられる。図書館業務においても今後どのような管理運営体制が望ましいか、さまざまな観点から検討を行っている。

濱元 全国では公立図書館に指定管理制度を導入し、さまざまな問題が発生し、直営に戻した公立図書館が

ある。また公の施設への指定管理制度導入推進を図っている政府すら、図書館への導入は「なじまない」と2008年の国会などで述べている。市立図書館の年間貸し出し冊数は61万5千冊以上。このことから市立図書館の在り方は、全市民的課題。アンケートを行うなど、市民の意見をよく聞き、慎重に検討することを求めるが、今後の進め方について見解を伺う。



教育部長 図書館にはいろいろな関係機関、団体の方が組織する図書館協議会がある。また、日頃から寄せられる市民の声もある。いろいろな意見を伺いながら進めていきたい。

選挙全般について

松井美津子 議員



松井 4月の市議選においての投票率や課題について分析結果を伺う。
選挙管理委員会委員長 20投票所の投票率は約10%低下し、全体で57.68%。投票率が高い所は79.46%、低い所は44.38%で地域別に開きがある。

松井 選挙年齢が18歳以上に引き上げられることで、児童生徒の発達段階に応じて社会性を育てるシチズンシップ教育について伺う。

選挙管理委員会委員長 市選管では県が実施する主権者教育とタイアップして、出前授業や模擬投票を実施する。

教育部長 主権者教育は、社会や政治に関心を持って社会で物事を決め意思決定に関わっていくプロセスに必要な資質、能力、知識を養う教育である。

松井 タブレットの導入などICTを活用した教育環境整備について。
学校教育課長 校務支援システムのICT化、学校の情報化教育の計画書を3月までに作成する。

松井 知の拠点、情報の発信基地としての図書館、今後の図書館の在り方について。

生涯学習課長 レファレンスの充実、読書活動の支援も進め、図書館業務に精通した業者等の指定管理導入について検討を進める。



西合志図書館

松井 貧困対策法の教育、生活、保護者への就労、経済的支援の4つの柱の取り組みについて。

健康福祉部長 子どもの貧困対策は重要である。教育支援として生活困窮世帯の子どもに学習支援を実施、経済支援として児童扶養手当の支給、子ども医療費の助成、生活支援としてひとり親家庭への総合的な支援、女性相談、就労支援は教育訓練給付事業、高等職業訓練独自給付事業なども実施している。

体罰を防止する策は

神田 公司 議員



神田 文科省のまとめでは、平成24年度の体罰での懲戒処分を受けた公立学校の教員は前年度より1700人増えて3953人で過去最高。合志市ではどうなっているのか。一連の体罰をめぐる報道でもあるように、現実に体罰は子どもたちの命まで奪っていく。体罰を受けた子どもが将来にわたる心と体を受けた傷を考えなければならぬ。

学校教育課長 戒告以上の懲戒処分は、平成22年度から26年度までは0件、27年度も今のところ0件である。教育委員会からの厳重注意、学校長から厳重注意は、24年度5件、25年度4件、26年度2件である。

神田 体罰を防止する策は、
教育長 いかなる場合においても身体に対する傷害、肉体的な苦痛を与える懲戒である体罰は行ってはならない。教員が教育的指導の名の下に体罰を行うことは、児童生徒に逆に体罰を容認させることにつながっていく。とりわけ部活動において、依然として体罰が一定程度許容されて

いるという誤った認識が今でもあることは誠に遺憾。二度とこのような行いがないようにあらゆる機会を捉えて、丁寧に指導をしていきたい。

神田 子どもには、「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」があり、意見表明する場、相談する場が必要だ。ホットラインをつくるなり、子どもたちが気軽に連絡できるよう教育委員会、女性・子ども支援室等に対応していくべきだ。
学校教育課長 貴重な意見だと思つた。電話相談窓口、子どもたちが気軽に言えるというような体制を検討させていただきたい。



TPP交渉 大筋合意

松本 龍一 議員



農業への影響と今後の対策は

松本 TPP交渉が大筋で合意され、農産物全般にわたり関税の撤廃や削減、特別輸入枠の設定がなされる見込みである。農家は今でも厳しい状況なのに、輸入が増え、外国との競争が激しくなったら今後どうなっていくのか大変不安である。政府は影響をどのように考え、どういう対策をしていくつもりなのか。

農政課長 TPPの発効には2年ぐらしかかるとされ、国会で批准されたとして影響が出てくるのは10年後くらいからだと言われている。政府も農産物価格の下落等を懸念しており、TPP対策の大綱を整備し、価格・所得の安定化策、生産基盤・生産体制の強化、農地の集積・規模拡大、輸出の促進などの政策を打ち出してくるものと思われる。合志市にはさまざまな農家があり、それぞれの作物への影響を検証し、今後対応を検討していかなくてはいけないと考えている。

16年ぶりの猛烈な台風襲来

松本 8月25日に襲来した台風15号による農業への被害と、復旧に向けた対応は。

農政課長 農業への被害としては、ハウス等の園芸施設に514万円、畜産施設が285万円、農作物が3404万円（ナス、スイカ、ホウレン草等）の損害があったと把握している。市としては、県やJAと連携して農業被害対策事業に取り組み、台風被害対策資金等の利子補給を行い、無利子で資金が借りられる制度を取り入れた。すでに自己資金で復旧された方もさかのぼって資金の融資が受けられるようになってきている。現在、通知や回覧、市ホームページ、広報紙等を通じて周知を行い、申請の受付を行っているところである。



台風で壊されたビニールハウス

将来を見据えて 合併の検証を

上田 欣也 議員



上田 合併10周年の検証はどのような形で行うのか。

政策課長 合併する際「新市建設計画」を作成した。平成27年度までの10年だった計画期間が5年延びて平成32年度までになっている。そこに書かれている5つの重点施策について、平成28年度事業として自治基本条例に基づき任意協議会をつくり検証したい。

企画課長 計画の変更について県と協議する際、進捗状況の調査もやっている。実施中または実施済の事業が112本で未実施が14本である。総合計画第2期基本計画の検証では、26本の施策評価と振り返りを行い、次の計画につなげている。

市長 新市建設計画の中で県事業の検証はこれまでやっていない。スマートインター、大津植



広報こうし創刊号より

本線バイパスなど合志市が要望したことなのか、県が合併誘導のために提示した事業なのか記録も残っていない。職員にも合併10年の経緯を改めて認識してもらい、議会とともに検証して次のステップに進みたい。

上田 健康増進計画では健康づくり推進協議会が中心となって進行管理を行うようになってきているが、会議録をインターネットでも公開すべきではないか。

健康づくり推進課長 例年2、3回開催している。インターネットでの公表は今後研究課題としたい。

上田 協議会はしっかり活動していると思うが、それを公開することで計画への理解を深めることになる。次に人材確保と資質の向上の具体的な状況について伺う。

健康づくり推進課長 平成26年度に管理栄養士1名を採用できた。事業終了後に改善に向けた話し合いを行う。各種研修会にも積極的に参加して資質の向上に努めている。

市役所の分庁方式は 定着している

大住 清昭 議員



合志市職員の採用時の国籍条項は

大住 一度撤廃された国籍条項（日本国民であること）を再度設けた理由は。

総務課長 内閣法制局が示している公務員に関する当然の法理として国籍条項を置いている。

大住 安全保障法制化の問題が国民的な関心事だ。平和の構築のため来年度から国籍条項を撤廃してはどうか。

総務課長 まちづくりをしていく上で今後も人材活用をしていきたい。

合志市自治基本条例の運用は

大住 市民は主役、市民参画の協働のまちづくりを進めるためのルールづくりが自治基本条例だ。取り組みを聞きたい。

企画課長 まちづくり事業提案制度、ボランティアの支援、まちづくり団体等設立支援事業等に取り組んでいる。

大住 条例22条の職員からの公益通報はあったか。

企画課長 今まで、適用事例はない。

大住 自治基本条例は最高法規と規定している。関係機関は、この条例を念頭に置いて業務を行なうこと。

合志庁舎の増築について

大住 議会全員協議会での合志庁舎増築の説明を確認したい。現在の分庁方式は市民に分かりにくいと言われたが、私は逆に10年が経過して市民に定着していると思う。

政策課長 市民にとって分かりにくくなっており、現在市民サービスの低下になっている。

大住 増築の規模は、2000㎡で額は6億4000万円程度とあるが、上限と理解してよいか。

政策課長 増築にかかる額はそつだ。全体的には7億3000万円程度が最高額と考えている。できるだけ圧縮したい。

大住 本庁方式のときは、国道387号沿いがベストと確信する。



西合志庁舎

自宅で安心して暮らすために！

来海 恵子議員



来海 合志市には、公衆浴場は老人憩の家・みどり館・ユーパレス弁天がある。紙おむつや体調が悪い方が入浴されて大便が浮かぶこともあり、体調の悪い方を拒むわけにもいかず、反面、健康な方の気持ちや衛生面も問題である。市の課題として、対策を考へるべきでは。

高齢者支援課長 老人憩の家の浴室については、大浴場のほかに障がい者用の個室の風呂が2部屋ある。おむつの着用、また脱ふんなどでトラブルとなった場合には、本人等に個室のほうの利用を促すように管理人に指導している。もたらされた場合は、直ちにお湯の入れ替えなどの対応を行っている。浴場の衛生管理は大変重要なので、注意を呼び掛けることはもちろん、一人一人が抱える状況に対して、場合によってはその方が高齢者サービスの利用をされていない方であれば、その利用の勧奨も含めて、本人や家族の方を交え個々に対応していく必要があると考へる。

来海 今年から介護保険による民間

のデイサービス事業で、要支援の方はお風呂の入浴ができなくなった。母を介護して風呂に入れることがあがるが、とても大変である。現在市独自の要支援の方に対するサービスが検討されているが、重労働の入浴介助だけでも市がなんらかの補助をしてくれれば家族の方々も助かると思う。

高齢者支援課長 介護保険の改正に伴い、要支援1と2の方のデイサービスと訪問介護が市町村に移行するため、新制度に対応したサービスの検討を行っている。高いニーズのある入浴サービス提供が可能かどうかも含めて検討している。単価については、菊池圏域で統一するための協議を進める予定である。



元気の森で健康づくり

公共施設管理費の財政負担軽減を

澤田 雄二議員



澤田 防災無線の間こえにくい世帯の防災メール登録支援について。

総務課長 生涯学習課が開催している出前講座のメニューとして、防災対策にかかるお話や防災メール登録手順の説明を行っている。多くの方に利用していただくために、生涯学習課と連携して周知を図っていく。

澤田 正午の時報放送が必要な地域と必要でない地域に分けて運用することは可能か。

総務課長 必要な地域とそうでない地域に分けて運用することは可能であるが、これまで2回ほど区の希望調査を行い、いずれも再開を希望する声は上がらなかった。平成28年1月の区長会で意向確認を行う。

澤田 公共資産について、建物管理は一元管理か。また、今後の管理法、課題は。

財政課長 これから大量の更新時期を迎えることから、公共施設等の全体を把握し、長期的視点をもって更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行っていくため、公共施設等総合

管理計画の策定作業を進めている。また、将来的には、公共施設の管理については、まちづくり会社への管理委託を視野に入れた一元管理を行っていく方向で考へている。

澤田 長期的財政状況を踏まえた、公民連携（PPP）、民間資金活用（PFI）の検討状況について。

まちづくり対策室長 まちづくり対策室では内閣府の「PPP/PFIに関する支援事業」に併設型小中学校及び給食センターを、都市計画課では国土交通省の「重層的住宅セーフティーネット構築支援事業・公営住宅に係るPPP/PFI導入新事業」に応募し選定されている。

内容を精査し、公民連携、民間資金の活用実現に向けた検討を進めていく。



合志市立学校給食センター

西合志庁舎を移転し 合志庁舎へ統合?!

坂本 早苗 議員



一 早急な計画に問題はないのか

坂本 合志庁舎の増築計画が報告され、今議会で実施設計費が計上されている。今回の計画では合志庁舎増築・改修等に7億3000万円、西合志庁舎を保健福祉センターに改修する場合は地域福祉基金4億7000万円の中からの支出が検討されている。早急に計画が進められているが各課の調整はできているのか。

政策課長 最終的な移動人数については調整を行っている段階。組織的な問題もあり調整をしている。

二 西合志庁舎をどう活用するのか

坂本 西合志庁舎を保健福祉センターとする計画方針と現在の保健福祉センター「ふれあい館」の位置づけについてどう考えるのか。

政策課長 新市建設計画の中、健康福祉のまちづくりの主要事業の中に健康福祉センター建設が掲げられている。西合志庁舎の有効活用として考えていきたい。詳細計画は遅れているが現在協議を行っている。ふれ

あい館の位置づけについては、今後条例等を整理する。

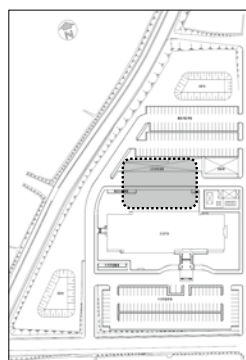
坂本 健康福祉センターができることで、今まで実施されてきた合志庁舎、西合志庁舎、ふれあい館、須屋市民センター、泉ヶ丘市民センターの5カ所での検診業務を続けることはできるのか。

健康福祉部長 今後の課題ということとまだ決定していない。サービス低下にならないよう考えている。

三 支所の業務は変わるのか

坂本 合志庁舎、西合志庁舎窓口の充実により須屋支所、泉ヶ丘支所の役割について変更はないのか。

市民課長 両支所とも今までの業務全般行っていくが、なるべく合志庁舎や西合志庁舎に誘導する手立ても考えている。



合志庁舎平面図

議会報告会にご参加いただきありがとうございました



平成27年11月28日(土)19時よりヴィーブル中央公民館2階研修室にて、第3回目となる議会報告会を実施させて頂きました。60名という過去最高のご参加を賜り、議員一同心より感謝とお礼を申し上げます。

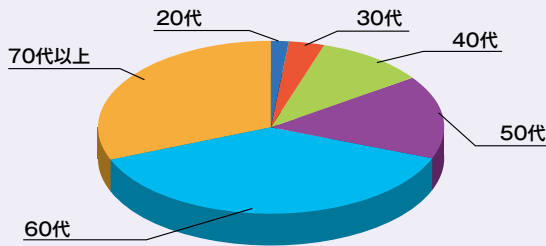
吉永議長のおいさつで始まり、議会運営、総務、文教経済、健康福祉の各委員長から10分ずつ資料説明を行った後、市民の方との質疑応答及び、たくさんの意見、要望を頂き、大変有意義な報告会となりました。

皆様から賜ったご意見等を真摯に受け止め、今後の議会運営に活かしていきたいと考えますとともに、議会報告会の内容につきましても更に改善できるよう努力して参りたいと存じます。本年もどうぞ議会に対しましてのご理解とご協力をお願い申し上げます。

市民の方のアンケート結果及び意見・要望等は、次ページのとおりで。

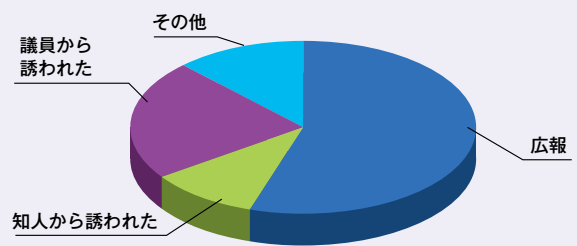
議会報告会アンケート結果

年齢



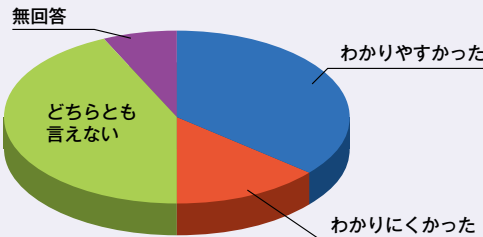
※60代の参加が38%と最も多く、70以上、50代と続く。

開催情報入手方法



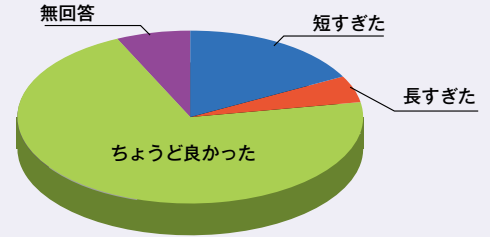
※開催情報入手方法では広報が半分以上で最も多かった。議会だより「きずな」の第39号（平成27年9月定例会）で周知されたと思われる。

説明の内容



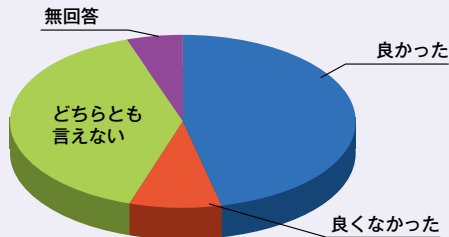
※説明の内容はどちらとも言えないが最も多く、わかりやすかったが続く。

説明時間



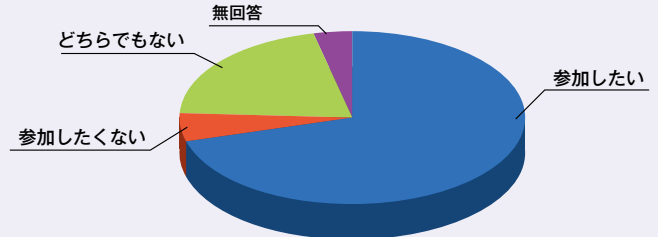
※説明時間はちょうど良かったが70%と最も多かった。

議会報告会について



※議会報告会良かったが47%で、どちらとも言えないが40%と続く。

今後の報告会の参加有無



※今後の報告会に参加したいが70%以上と最も多かった。

総括

議会報告会で「良かった」と「どちらとも言えない」との意見が均衡していたにもかかわらず「今後の議会報告会に参加したい」との意見が多かったのは、参加された市民の方の議会報告会に期待している表れで、議会としてもっと充実した報告会にしなければならないと思います。

主な意見・要望等

- 委員会の活動が直接聞いて良かった。議会だよりは目を通してはいるけど、議員さんから直接聞ける機会は有り難かった。
- 限られた時間でテーマの絞り込みが大変だったと思いますが、各委員会の報告会としては物足りなかったと思います。今後は、1つのテーマを深掘りして報告したほうが良いのではないかと思います。
- 老人対策について聞きたかった。
- もっと時間を長くして、意見交換を多くして欲しい。議員の方も住民と会う機会を多くして欲しい。住民も責任があると思います。
- 意見交換に問題があったように思う。質疑応答に意見を出したかったが時間がなく残念。
- これまでと異なり、今回は議会報告会開催の公示方法を工夫された成果で、今回の市民参加は増加したと思う。市民に開かれた議会を望むなら議員諸氏も知恵を絞ってもっと頑張ってほしい。
- 活動の成果について報告がもう少しあればよかった。
- もうちょっと、具体的な市政の課題、問題点を聞きたい。
- 現状の説明より、実行後の効果の状況を説明されたほうが議会のあり様が分かるのでは？
- 各委員会の説明のみで、具体的な内容について不明確であった。
- 建設的な意見が飛び交う場を期待します。
- 年数回の報告会が必要だと思います。
- 各委員会のテーマ選びに疑問を感じた。行政視察より、具体的に当市の小中一貫校の背景とかの説明が欲しかった。マイナンバーは国の施策であり、市議会で行うものではない。質問する時間が長かった。（答弁も簡単に）



合志市秋祭り
11月7日(土)に農業公園で開催されました。園児によるパフォーマンスや、ヴィーブル子ども劇団によるステージイベント、レーザー&花火ショーが行われました。



部落解放 熊本県研究集会
11月28日(土)は開会行事、基調提案、講演の全体会。29日(日)は三つの分科会でパネルディスカッション、レポート報告が、菊池市総合体育館等で開催されました。



ヴィーブル合唱団 20周年コンサート
11月29日(日)ヴィーブルで開催されました。男声合唱・女声合唱・混声合唱の美しいハーモニーで満員の観客を魅了しました。最後は「故郷」を全員合唱し会場が一つになりました。



熊本県 市議会議員研修会
1月8日(金)熊本ホテルキャッスルで、県下14市の市議会議員研修会が開催され、慶應義塾大学片山善博教授より、地方議会改革についての講演がありました。



市消防出初式
1月10日(日)に合志小学校グラウンドで開催されました。消防団分列行進、通常点検の後、上庄堤に場所を移し、ポンプ車16台による一斉放水が行われました。

議会の主な動き

(11月~12月)

【11月】

- 4日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会 (生涯学習施設等小委員会)
- 10日 全国市議会議長会第99回評議員会
- 13日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会 (給食施設等小委員会)
- 17日 議会運営委員会
- 18日 新潟県燕市議会より「子育て短期支援事業について」視察研修
- 20日 全員協議会
財政調査・研究特別委員会
- 27日 議会運営委員会
第4回(12月)定例会開会
全員協議会
- 28日 議会報告会



【12月】

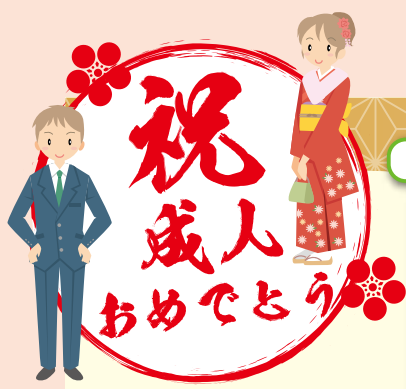
- 2日 平成21年4月1日施行 合志市議会の議員及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に関する特別委員会
- 2日 議会運営委員会
- 7日 議会広報調査特別委員会
- 8日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会 (学校施設等小委員会)
- 9日 教育施設整備等に関する調査研究特別委員会 (生涯学習施設等小委員会)
- 17日 全員協議会
平成21年4月1日施行 合志市議会の議員及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例に関する特別委員会
- 25日 議会運営委員会

平成28年第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
2	25	木	本会議	市長提出議案上程及び説明
	26	金	本会議	一般質問
	29	月		
3	1	火	本会議	質疑、委員会付託
	4	金		
	7	月		
	8	火	常任委員会	付託事件の審査
	9	水		
	10	木		
	18	金	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。

議会だよりに対するご意見は、合志市議会事務局へ
電話 096-248-1111(代表) 248-2038(直通)
Fax 096-248-2047 メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp



自然と農業を大切にしていきたい



自然豊かでいい街です



ヴィーブルは部活でお世話になりました



子どもの成長が
楽しみです



両親・先生に感謝



管理栄養士を目指して頑張ります



お酒と上手に付き合っていきたい



働く場所を
増やしてほしい



便利で
住みやすい



議会広報調査 特別委員会

委員長 坂本 武人
副委員長 上田 欣也
委員 後藤 修一
委員 青山 隆幸
委員 野口 正一
委員 澤田 雄二

そして、市長はこの10年を振り返り、次の10年に向け「住みたい」「住み続けたい」まちづくりを目指しています。

議会としても、予算や条例等の議決、行政のチェックにとどまらず、新しい10年に向け、市民生活の向上、さらには幸福度の最大化に向け取り組んでいかなければならないと考えています。

(後藤 修一)

新しい年を迎え早1ヶ月半、市民の皆様方におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

格言に未(ひつじ)辛抱、申酉(さるとり)騒ぐとあります。

今年は甲午、主な年間行事予定を見てみますと、3月熊本県知事選挙、5月伊勢志摩サミット、7月参議院選挙(衆参同日選挙?)、8月リオデジャネイロオリンピック、11月米大統領選挙と予定されており、選挙の多い大変騒がしい1年となりそうです。

そして大事な行事があとひとつあります。合志市は2月27日で誕生10周年を迎えます。合併当時から人口は7000人以上増え、東洋経済の住みよさランキング2015によりますと九州では第1位にランキングされています。

編集後記

